学校番号	1201

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	（学）基礎数学	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	－						
副教材等	－						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基礎数学では２年生で学習する数学Ⅰに向けて小学校の計算問題から学びなおしを行います。最初は簡単だと思う問題でも、必ずどこかで間違ったりわからなくなったりします。そのときに投げ出さず、もう一度解き直し、理解しようとすることを大切にしてください。基礎数学の授業は毎朝あります。中学校のときに解けなかった問題が解けるようにゆっくり丁寧に学び直しをしていきますので、毎日登校して頑張りましょう。
・学びなおしには「家庭学習」の習慣を定着させることが最も重要です。1 日 15 分、自宅で数学の勉強をすることが分かるためのコツです。授業で行った復習問題や簡単な計算問題を課す場合があるので、自分の力で解こうとする姿勢を持つことを大切にしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・小学校３年生から中学３年生までの学習項目の中からポイントを絞って学習し、２年生から数学Ⅰを学習するために必要な知識及び技能を身に付ける。
・その過程において、計算上のルールを理解し、手順を正しく計算することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
・計算の手順を暗記するのではなく、なぜこの式を変形するのかを考えられるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
・計算の手順を踏まえ、途中式をかくことや、分からない値を文字で置くなど、数学を解くにあたって、過程を省略せずに解き進め、計算能力の向上に努めようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・小学校における「数と計算」「図形」「変化と関係」や中学校における「数と式」「図形」「関数」における基本的な知識を再確認し、計算することができる。 ・その過程において、約分や正負の符号など数学上の法則やルールを正しく理解し、計算できる。	・数学の問題を解くにあたって、答えがあっていれば良いだけでなく、計算過程にも注目し、なぜその式を変形するのかを考える。 ・方程式と関数の関係性など「数と式」の分野で得た知識が他の分野にどのように関係しているのかを理解する。	・間違った問題に対して、簡単にあきらめず、どこで間違えたかを考え、理解しようとしている。 ・分かる問題に対しても、自身の計算能力を過信せずに丁寧に計算し、計算能力の向上に努めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数と計算	整数　小数　分数 四則演算 正の数と負の数 指数	a:①「数と計算」に関して、演算のルールに従って正しく計算できる。 ②「数と式」に関して、文字式のルールに従って正しく計算できる。 b:　符号, 指数, 文字式などが複合された問題に対して、手順を追って丁寧に計算できる。 c:繰り返し計算演習に取り組み、自身の計算能力を高めようとしている。	定期テスト 課題	定期テスト 課題	課題 授業態度等
	数と式	文字式 1次方程式 連立方程式				
2学期	数と式	1次不等式 平方根	a:①「数と式」に関して、その性質を正しく理解し、計算できる。 ②「変化と関係」に関して、比の意味を理解し、正しく計算できる。 ③「関数」に関して、y と x の関係を正しく理解し、グラフ等が描ける。 ④図形の性質を理解し、正しく計算できる。 b:不等式や関数の単元において、なぜその数直線やグラフや描けるのかを、式や表から考える。 c:x と y の関係を正しく対応させ、グラフを描こうとしている。また、図形を見て、未知の辺の長さ等の値を求めようとしている。	定期テスト 課題	定期テスト 課題	課題 授業態度等
	変化と関係	比例 比				
	関数	比例 1 次関数 関数$y = ax^2$ 2次関数				
	図形	三角形 直角三角形 三平方の定理				
3学期	数と式	式の展開 因数分解	a:「数と式」に関して、分配法則等文字式や(　)の含まれる計算ができる。 b:２次方程式を解くにあたって、因数分解の必要性を考える。 c:一気に答えを求めようとするのではなく、途中式を丁寧に書くなどして、計算の精度を高めようとしている。	定期テスト 課題	定期テスト 課題	課題 授業態度等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度